



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局
Tel 045-893-4877 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第271号

(創刊 1988.12.14)

2012.04.01.

横環南線の地盤と地下水脈 講演会報告

平成24年3月11日(日)、庄戸中学校体育館にて福島大学の柴崎直明教授(共生システム理工学類、地下水盆管理研究等)による勉強講演会が行われた。



会場には寒い中にも (講演する柴崎教授) 拘らず予想をはるかに超える約200名の地元住民が自分たちの住む地盤がどうなっており、地震や水害の時に何が起こるかを勉強するために集まった。講師の柴崎教授は、この道の専門家であり、連協提供の資料に加え関係する資料をネット経由で入手し、南線沿線の状態を詳細に分析評価し、南線沿線がいかに地震や水害に弱く、地滑りや崩落を起こしやすいかを視覚的に説明、講義した。

庄戸桂台地区にトンネルを掘るとどうなるかを住民は改めて理解し、南線に対し反対姿勢を貫く理論的根拠を再認識した。(事務局)



(会場を埋めた参加者)

講演学習会に参加して

横環南線の事業者が安全の根拠として示した「地下水動態把握」は、余りにも大まかでも何も見えてこないこと、詳細に調べると非常に複雑な地下水位が分布していること、地下

深くトンネルを通すことはその複雑な地下水が分断されて水位のバランスが崩れ、その結果地盤沈下を招くということ等が印象に残りました。安全であったはずの原発とこの地区の安全を重ね合わせて考えてみる時だと強く思いました。(庄戸3 菅野 富美子)

対外活動報告

- 03/01 高尾天狗裁判(東京高裁)最終弁論傍聴 (4名参加)
- 03/01 かながわ大気汚染・道路公害連絡会
- 03/03 環境行政フォーラム研究発表会
比留間会長「横環南線の問題点その2」を講演 (参加者4名、東京都市大学横浜キャンパス)
- 03/07 栄区区民アンケート問題の住民訴訟第3回公判(横浜地裁、傍聴者34名)
- 03/10 浅尾慶一郎の会出席(1名)
- 03/11 講演学習会「横環南線の地質と地下水流動について」(講師:柴崎直明福島大教授、場所:庄戸中学校体育館、参加者:198名)
- 03/12 公害調停に関わる資料閲覧 (場所:県庁大気水質課、3名)
- 03/15 「着工待った!東京外環道3/15集会 (1兆2820億円の東京外環道予算を東北被災地振興へ)」(場所:参議院議員会館会議室、参加者3名)
- 03/15 事業者(国交省、NEXCO、横浜市)に対し、質問集会の未回答事項について早急な回答要望書を提出
- 03/16 第13回大気汚染公害被害者新救済制度創設神奈川相談会(神奈川救済懇)(1名出席)
- 03/20 三村和也の会出席(1名)
- 03/24 玉川大学小山雄一郎助教の横環南線現地見学案内&意見交換(会長以下5名)
- 03/27 第4回神奈川県公害審査会調停 (場所:波止場会館、申請人5名出席)

公田インター崩落の危険か？

NEXCO 東は、2月14日、「公田町におけるボーリング試験、解析調査」に関する入札公告を発表した。業務の内容は、「存在が推定される大船層(0c層)の凝灰質砂岩層(0s層)の確認をするとともに、ボーリング孔を利用し、原位置試験を行い土留め工事の設計に必要な基礎資料の収集を行うこと。また、周辺地盤への復水工法(リチャージ)の適用性の把握およびその設計・施工に必要な試験および解析を行う。」としている。場所は公田町で横環南線の公田 I/C が予定されている地点である。(下図: Google マップ[®] 利用)



大船層は、約 100 万年前の地層で横浜南部から湘南地区に広がっている。凝灰質砂岩層とは、火山灰が固まった砂岩で、脆く崩れやすい地層であり、調査では、これを探し当て、土留めの検討や注水の可否などを検討している。

公田地区の横環南線は、桂台トンネルと公田トンネルの間に半地下式の公田 I/C がある。つまり本件は、桂台や朝日平和台などの台地からの圧力を支える盆地の底での地質の調査である。

2003年7月26日、宮城県で震度6弱以上の地震が発生した。宮城県北部地震である。死者こそ出なかったが地震と降雨により、緩い斜面の崩壊、土石流、崖崩れなどが発生した。



水田の地滑りを示す写真。周辺の凝灰質砂岩は、著しく脆くなっている。
(活断層研究センター)

2008年6月14日、死者不明者23名の岩手・宮城内陸地震(M7.2)のため大規模な崩壊が発生。この地域の土質も火山灰に由来する細かい凝灰岩である。(荒砥沢ダム上流部の崩壊)



栄区を含む横浜市南部も何度も火山灰に覆われた脆弱な地質であり、横環南線に関する本調査結果が注目される。(庄戸三、田中)

「やらせアンケート」訴訟 第3回公判開かれる(3月7日)

連協は昨年8月「栄区22年実施の区民意識調査は自己に都合が良くなるような誘導方式つまりやらせアンケート、且つ、集計法の誤りによる間違っただータ公表は税金の無駄遣い」として横浜地裁に住民訴訟を行っている。

- ◆第一回公判で被告から「原告らの主張は不適法なものであり却下すべき」との答弁書が出され、二回公判で原告は最高裁判決を引用し訴状の適法性を準備書面により徹底反論。
- ◆今回の第三回公判では我々の準備書面に対する被告の主張が準備書面で提出された。

次回第4回公判は5月14日(月)10時30分から横浜地裁502法廷で開かれるが、更なる証拠立てを行い税金の無駄遣いの不法性を追及していく予定である。一方、住民側傍聴者は第一回13名、第2回27名、第3回34名と回を重ねるごとに増え、行政べったりでない司法の公正な判断を求める住民の期待と関心は高まるばかりである。(事務局)

神奈川県公害調停続報

第4回神奈川県公害審査会調停は、3月27日に波止場会館にて開催されました。

次回は5月21日(月)の予定です。